

京都代協 通常総会・会員大会を開催 ゴールド三冠を獲得 組織率79.4%で全国2位に



懇親会の様子

安井義幸氏が新会長に

京都代協(小橋信彦会長)は5月25日午後2時から、京都市下京区のリー・カロイヤル京都で会員66名(委任状153名)参加のもと第15期(通算60期)通常総会および会員大会を、午後4時から82名参加のもとセミナー、さらに午後6時から会員および来賓総勢100名が出席し、懇親会を開催した。小橋会長が役員改選により退任し、安井義幸氏が新会長に就任した。

また、任期満了に伴う役員改選により、安井義幸副会長が新会長に就任した。挨拶に立った安井会長は、自身の経歴紹介を行い、「過去6年間副会長を拝命していたが、支部活動の経験は浅く、さまざまな委員会の経験もしておらず、会長となる心構えを持って活動してきたわけではないので、これからも皆さまにいろいろと教えていただき、サポートをいただきながら、京都代協の運営活動に尽力していきたい」と述べた。

総会では小橋会長が冒頭挨拶に立ち、久しぶりの会場開催への感慨深さを語ったあと、難局が続くこの業界において、皆様もいろいろな思いを持たれているだろうが、どのような状況であっても後ろを見ているのではなく、常に前へ前へ進んでいかなければならない。これは今も昔もそうで、将来も続いていくだろう。我々は今、何をなすべきかを、一人ひとりの胸に手を当てて考えながら、さらに一致団結し、苦難を乗り越えていきたい。引き続き皆様のご協力をお願いしたい」と述べた。

付議事項の審議は今回書面による事前承認となっており、2021年度事業報告、決算・監査報告、役員改選、および22年度年度事業計画案、同予算案すべて可決承認されたことを報告。同代協では日本代協が推し進めるゴールド三冠(コンサルティングコース、仲間づくり推進(会員増強)、ぼんさいマップコンクール、日本代協アカデミー登録ID数の目標達成)を獲得した。V8の会員増強では8店の新規加入があり、3月末時点で344店、組織率79.4%、僅差で全国2位となった。事業計画では、財政基盤の確立のため収益事業に「住宅修繕業者の幹旋」を新たに加えたことが報告された。



小橋会長



安井新会長

休憩を挟み、株式会社TESS鈴木堅之代表取締役を講師に迎えセミナー「あきらめない人生」が行われた。同社は世界初となる、足で漕ぐ車いすCOGYを製造・販売する東北大学発ベンチャー企業で、COGYは脊髄反射という体の自動反応を利用し、わずかな力があれば歩行困難な人でも自分の足でペダルを漕いで自由に移動ができる、画期的な車いすとなっている。安井会長が従前よりこの普及活動を援助しており、今回のセミナーに招くこととなった。講演では、元々小学校の教員だった鈴木氏が、東北大学のアイデアから具体的に製造・販売ができるようになるまで倒産の危機や数々の困難をどのように乗り越えてきたかというエピソードを通し、自己の信念とあきらめないことの大切さを伝えた。

懇親会は、黒石光寿日本代協理事、損保協会近畿支部京都損保会大江裕之会長、および前原誠司衆議院議員、勝目康衆議院議員、田中英之、北神圭朗、泉健太、山井和則衆議院議員秘書、福山哲郎、西田昌司参議院議員秘書ならびに田中健志、磯野勝京都府議会議員、吉井章京都市議会議員らの来賓を迎え、盛大に開催された。